



クロージング
今を生きる 人がそが宝
第13回

和寒町商工会青年部 部長

佐藤 伸

「(さとう) 伸(しん) 二(に)」さん

〜今できることを一生懸命に頑張ることが大事〜

劇団俳優として

現在、和寒町商工会青年部の部長を務める佐藤さんは、プロの舞台俳優を目指した経験を持つという異色の人物。中学校時代には、スポーツは苦手であったが演劇や合唱では誰よりも自分をうまく表現することができたという。文化的活動の素晴らしさを知り、その道を追及するべく、

当時、演劇部で有名だった旭川工業高等学校に進学。3年生のときには演劇部の部長も務め、全道大会では最優秀男優賞を受賞。また、高校在学中から旭川の市民劇団に社会人とともに参加してきた。このような活躍から東京の劇団からもスカウトを受けるようになり、プロの劇団員を目指すため、東京のテアトル

エコーという劇団の俳優養成所に在籍した。

下積み時代

劇団養成所時代には、日本舞踊や音楽などの稽古が毎日のようにあった。また、天才バカボンでお馴染みのレレレのおじさんの声や、ルパン三世の銭形警部、さらにはサザエさんののりすけさんなどの声を担当した日本のトップクラスの声優さんが指導にあたってくれた。

そんな毎日の生活を送るためにも、12種類のアルバイトを経験。特にテレビ番組のスタッフである道具の作業では、舞台セットを組立る作業で、忙しいときは、3日間は帰ることができなかったという。

佐藤さんは「この下積み時代の経験が今に活かされている。人に喜んでもらえることが大好きで、イベント活動などでの発想や物作りに活かされている」という。

経験を活かして

家業を継ぐことを決意した、佐藤さんは平成8年に帰町。現在では小林金物店の専務取締役を務め、商工会青年部での活動でもこれらの経験が活かされることとなる。

どんとこい！わっさむ夏まつりの「かぶとむし王国」は佐藤さんの発案によるもの。また、ジャンボスマートボールは養成所時代に経験した道具での経験を活かして手作り製作。いずれも、どんとこい！わっさむ夏まつりのメイン企画となり、多くの行列ができるほどになった。

町のために

佐藤さんは「都会であつても田舎であつても今ある環境で、今できることを一生懸命に頑張ることが大事。田舎は田舎で挑戦できることがたくさんある。地域が盛り上がり、くれることが一番うれしい」と語ってくれました。



佐藤 伸二さん[和寒町商工会青年部部長] 37歳
和寒町字北町 TEL0165-32-2032 出身：和寒町
経歴：1985年 和寒小学校卒業 1988年 和寒中学校卒業
1991年 旭川工業高等学校卒業 同年 テアトルエコー俳優養成所
1996年 有限会社小林金物店 現在は専務取締役
趣味：演劇、カラオケなど